

乳がん予防を呼び掛ける診療放射線技師

安沢 千奈さん 45

検査笑顔でお迎え



磐田市立総合病院の診療放射線技師。日本人女性は九人に一人の割合で発症するという乳がんの予防に「四十歳以上なら二年に一回の検診を。早期の発見、治療で治癒が期待できます」と呼び掛ける。「まずは、自身の乳房を気に掛けてほしい」と訴える。

おはよう:

一カ月に一回程度でいいので、親指以外の両手の四本の指で、立ったまま鎖骨の辺りから脇、乳房の横を滑らせるように胸全体を触る。次に上向きに寝て同様に触れる。引っ掛かりがあったり違和感があったりしたら、病院での精密検査を勧める。

検査はマンモグラフィという専用装置を使い、乳房を撮影台とプラスチックの板で圧迫して撮影する。対応するスタッフは、専門の研修や試験をくぐり抜けた女性技師ばかり。「痛みに個人差はありますが、自然とリラックスしてもらえようように笑顔でお迎えますので、安心して来院を」。愛知県豊川市。

(宮沢輝明)